



戦争の悲惨を継承

九条の会・いすみ市は、憲法についての勉強会を行っています。

私は戦争についての記憶は幼いためにありませんが、終戦後の物質の乏しい時代は経験をしました。

学習する中で感じたことを述べてみます。

先の戦争で、父や兄は出征し子供たちは学童疎開と一家は離散した人々もいます。戦場では兵隊が死に、空襲では住んでいた所が焼け野原となり、多くの民間人が犠牲となりました。広島、長崎への原爆投下での惨状、戦争がどれだけ深い傷痕を国の内外に残したか。

戦争はもう「こりこり」という国民の思いの中で、日本国憲法が生まれました。

(昭和21年11月3日公布、昭和22年5月3日施行)

憲法は前文で国民に自由と人権をもたらす。政府に二度と戦争をさせない。ことを目的にあげています。戦争への反省からできたのが今の日本国憲法です。

戦争は人間を非人間的にします。憲法で与えられた自由が、いかに戦後民主主義を守ってきたか、又平和をもたらした9条の役割が大きかったか、理解できます。

戦後の日本の平和と繁栄が、戦争で亡くなった人々の犠牲の上に築かれています。

戦争の惨禍を繰り返さないことが、その人たちの思いに応えることになりましょう。

現憲法が生まれて70年がたち、戦争を直接体験した世代の高齢化が進み、体験者のいない時代を迎えつつあります。最近起きた、津波などの災害についても、教訓を伝えることの大切さが言われています。

戦争の記憶や記録が風化されることなく、新たな時代につなげていかななくてはならないと感じています。

山口

入会者から ひとこと

大原のUさん
日本の宝、九条を大切に
がんばりましょう！

深堀のNさん
九条の会の出来ましたこと、
非常に良かったと思います。

現会員 83名

ひとりひとり会員を増やしましょう

2名の計報があります

土屋さん

西牧さん

ご冥福をお祈りします

帝国憲法から日本国憲法へ（全体的内容）

ポツダム宣言受諾、敗戦により、
女性参加の選挙を経て国会議員の圧倒的多数で議決

日本帝国憲法（旧憲法） → 日本国憲法（現憲法）

・天皇主権（神聖にして侵すべからず） → 国民主権

・臣民の権利義務—法律の範囲で（形式的） → 基本的人権

・天皇を助ける機関 → 三権分立(国会・内閣・裁判所)
(帝国議会の協賛を以て立法権、
法律を裁可し公布執行、司法権天皇の名)

・天皇は緊急勅令を発し、陸海軍を統帥する、 → 平和主義
宣戦を布告し和を講じ、戒厳を宣告
(基本的人権が戦争のため制限された)

・地方自治 規定なし → 第八章 地方自治が設けられる



お知らせ

南スーダン派兵反対の
一声メッセージ運動に
取り組んでいます。
ぜひ皆さんの声をお寄せください！

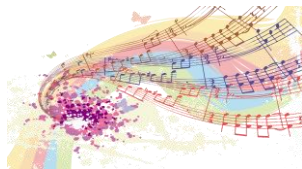
花見交流 4月1日(土) 10時45分～13時

大原文化センター集合

場 所 いすみ市運動公園

参加費 1000円

懇談・歌・ハモニカ・オカリナ



憲法記念日ー5月3日 10時から12時

大原文化センター

現憲法ができて良かった実感を伝え続ける

(平和文化あらゆる点で)

これからの日程

花見会以外は大原文化センターで

10時から12時までです

(参加費200円)

4月1日花見会

4月22日学習会 5月3日憲法記念E

5月23日学習会 6月24日学習会

2015年度
2016年度
取り組んだこと

- ・安保関連法(戦争法)
反対2000万人署名行動
- ・憲法記念日、大原駅前
九条アピール行動
- ・戦争法反対国会前デモ参加
- ・憲法集会講演会出席
- ・市長との懇談 /
- ・広島原爆記念式典派遣中学
生の報告会出席
- ・戦争体験を語る会
- ・市内戦争跡地巡り
- ・映像を観て戦争と憲法を
語る会
- ・現行憲法と自民党憲法改正草
案の比較学習会
- ・憲法カフェⅠ・Ⅱ
- ・第六回全国交流討論集会
参加(代表、前田さん)
- ・桜、お花見会
- ・朝日新聞市民広告
(主権者はわたしたち
安倍政権にNO)掲載参加



会員随時募集中
年会費500円

日本はなぜ、
戦争ができる国
になったのか

矢部宏治
集英社インターナショナル

吉崎寛さんから

☆本の紹介☆

矢部宏治・著

(集英社インターナショナル)

会員の皆さん
からの
自由な投稿を
お待ち
して
おります

会員の
投稿



川柳

よっこらしよと
あれあれ えーと の
おらが春
しんちゃん

平成29年、年会費
500円を
集めています
よろしくお願いします

2017年後半7月からの予定は
2015年度、2016年度(左記載)
今まで取り組んだことを考えています。
皆さんぜひご意見をお寄せください。
検討の上、次号に予定を掲載します。

ほっとたいむ



映画「母 小林多喜二の母の物語」
主演、寺島しのぶが今月封切られた。
現代の治安維持法とも言える共謀罪を通
そうとしている安倍政権！
多喜二の命はなぜ国家によって奪われな
ければならなかったのか、今その悲しみがリ
アルにひしひしと迫る。

(編集後記)

R. Kawashima